

都市再生整備計画

はやとえきしゅうへんちく
隼人駅周辺地区

かごしま きりしまし
鹿児島県 霧島市

令和 2年 3月

令和 3年 9月(第1回変更)

令和 5年 1月(第2回変更)

令和 5年10月(第3回変更)

令和 6年11月(第4回変更)

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	<input type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input checked="" type="checkbox"/>

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	鹿児島県	市町村名	霧島市	地区名	隼人駅周辺地区	面積	52 ha
計画期間	令和 2 年度 ~ 令和 7 年度	交付期間	令和 2 年度 ~ 令和 7 年度				

目標
 大目標:霧島市の都市核として利便性が高く魅力ある隼人地域の市街地の創出
 小目標①:駅周辺の東西連携の強化
 小目標②:駅西側地区の活性化

目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況
 ■まちづくりの経緯
 ・本市では、霧島市都市計画マスタープランにおいて、将来目指す都市構造を「集約型多極連携ネットワーク都市構造」とし、国分・隼人の2つの市街地地域を中心としたエリアを本市の“まちなか”となる「都市核」と位置付け、都市づくりの各施策を進めている。
 ・隼人駅周辺地区においては、隼人市街地地域の主要な商業・業務地、近隣商業地として、県央地域中核都市としての高次な都市機能の集積と地域住民の利便性の向上、交流人口の拡大を目指し、都市機能の集積、拠点性の強化並びに定住化の促進を図るため、現在、「隼人駅東側地区土地区画整理事業」による市街地整備を進めている。
 ・令和元年度より、今ある地域資源を活用した新たな事業を小さく生み出すとともに、地域の方々と一緒にコミュニティを育てながらエリアの価値を向上させる民間主導のまちづくりの手法である「リノベーションまちづくり」に取り組んでおり、隼人駅周辺地区においても講演会やリノベーションスクールの実施を予定している。
 ■現況
 ・本市の人口は、全体では減少傾向にあるものの、隼人地区は依然として増加傾向にある。
 ・隼人駅は、JR日豊本線・肥薩線が乗り入れており、国分駅に次いで約3千人／日以上の乗降客数があり、また、鹿児島空港等を結ぶ路線バスや市街地循環バスが接続される主要な交通結節点である。
 ・隼人駅改札口があり、官公庁、学校、金融機関等の公共施設や既存商店街が集積する駅西側地区と土地区画整理事業を実施している駅東側地区は線路で分断されている。
 ・本地区には「鹿児島神宮」をはじめとして多くの歴史的・文化的資源を有しており、また、本市には霧島山などの恵まれた自然や温泉など、多くの観光資源があり、観光客は増加傾向にある。
 ・駅西側の既存商店街は、空き店舗が増加し、商業機能が低下している。

課題
 ・隼人駅を挟んで線路で分断されている駅東西の地区は、駅東側地区の土地区画整理事業による市街地整備とあわせ、本市の新たなまちなかの玄関口として、地域住民、通勤・通学、買い物客、観光客等の移動の利便性や回遊性の向上、鉄道からバス・マイカーへの乗継機能の向上等、交通結節点の強化が求められている。
 ・隼人駅西側地区と市街地整備の進む東側地区とは、線路で分断されており、お互い行き来するには踏切のある地点まで迂回する必要があり、アクセスが困難である。
 ・駅西側地区については、既存の商店街や隼人駅からの鹿児島神宮へ向かう沿道の空き店舗化が進み、地域活力が低下しており、駅東側地区の市街地整備とあわせ、地区の賑わいを取り戻し、活性化を図る取組が求められている。

将来ビジョン(中長期)
【隼人都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針】
 隼人都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針において、「人と自然と産業が共生するまち隼人」を基本理念としている。土地利用の方針では、「低未利用地の計画的な基盤整備などを検討し、隼人駅の東西連絡道の整備による集客機能を付加させるなど、広い商業圏域を吸収できる商業地の形成を図る」ものとしている。
【第2次霧島市総合計画】
 第2次霧島市総合計画において、基本理念を「世界にひらく、人と自然・歴史・文化がふれあう都市」、将来像を「人にやさしく 人をはぐくむ 一人ひとりが輝きにぎわう 多機能都市」としている。また、基本方針では「地域特性を生かした観光の推進」、「快適生活の基盤づくりの推進」や「地域特性に応じた魅力ある空間の形成」掲げ、まちづくりを進めるものとしている。
【霧島市都市計画マスタープラン】
 ・本市の将来都市構造は「集約型多極連携ネットワーク都市構造」の形成を目指し、国分・隼人の2つの市街地地域を中心としたエリアは、本市の“まちなか”となる「都市核」と位置付け、市街地の拡大を抑制しつつ都市機能の集積を図り、拠点性の強化と定住化の促進を図る。
 ・JR国分駅、隼人駅周辺の市街地については、県央地域中核都市としての高次都市機能の集積と地域住民の利便性の向上、交流人口の拡大を目指した整備を図る。
 ・駅周辺においては、駅前広場などの交通結節機能の充実、ユニバーサルデザイン化を図るなど、利用者の増加につながる施策を推進する。

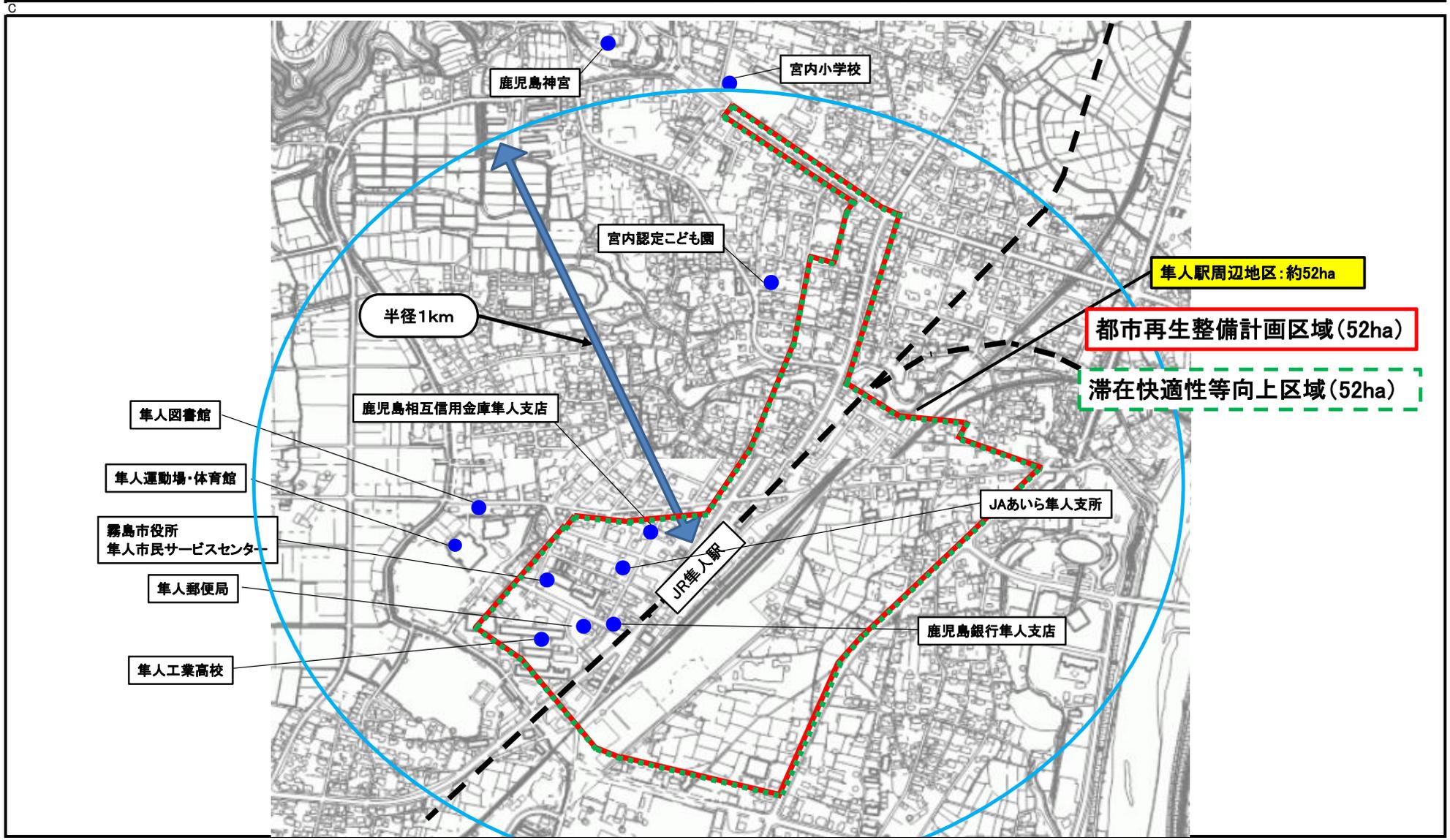
一体型滞在快適性等向上事業及びまちなかウォークアブル推進事業の計画
滞在快適性等向上区域の考え方
 隼人駅を拠点とし、駅の西側と東側をまたぐ半径1km以内を目安に滞在快適性等向上区域を設定し、線路で分断された駅東西を結ぶネットワーク機能向上を図るとともに、駅前広場から鹿児島神宮までのパブリック空間(道路、広場など)をウォークアブルな人中心の空間に転換するため、官民一体となって交流・滞在空間を創出していく。
滞在快適性等向上区域での取組
 駅東西のアクセス向上や交流人口の増加を促進する自由通路を整備するとともに、道路や広場などでの地域住民のアクティビティを促す滞在環境整備事業を実施する。
 民間の活動や投資を活性化させるため、通り会や地域住民による小さなアクションを生み育てるリノベーションまちづくり事業を推進する。

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性		従前値	基準年度	目標値	目標年度
踏切・東西自由通路の歩行者数	人/日	隼人踏切、見次踏切、東西自由通路の歩行者数	東西自由通路や自転車駐車場等の施設整備は、駅利用及び市街地アクセスを促進するため、駅周辺の歩行者数の変化から整備効果・利便性の向上について評価する。	1,630	H28	1,675	R7	
隼人駅周辺の歩行者数	人/日	隼人駅周辺(西口)の歩行者数	隼人駅周辺の歩行者数の変化を把握することで、空き店舗活用や駅前整備による地域の魅力・誘客力の向上について評価する。	2,289	H28	2,295	R7	

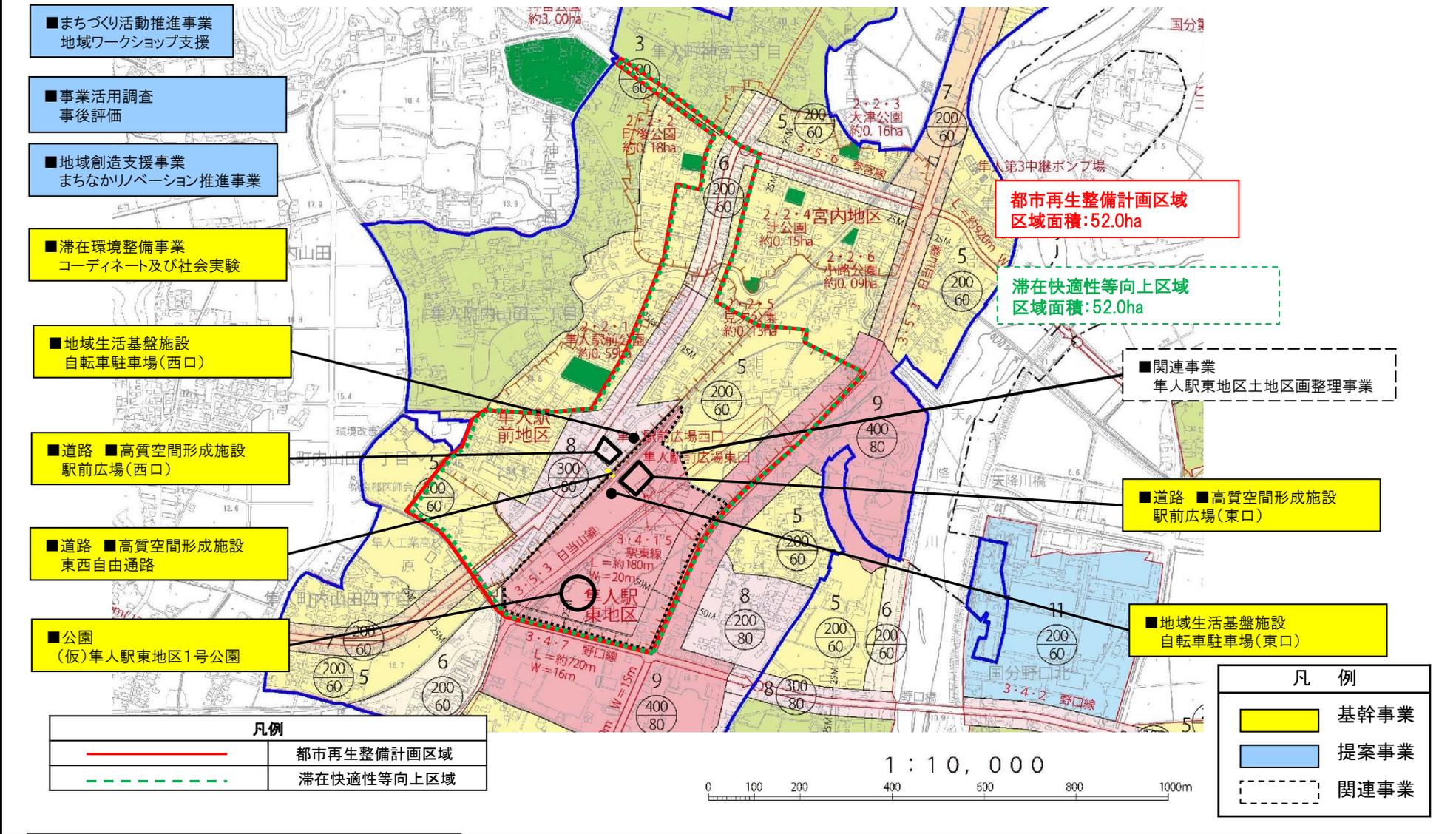
計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>●駅東西のネットワーク強化による新たなまちの玄関口としての利便性の高い都市拠点の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隼人駅東地区の市街地整備と併せ、駅東西のネットワークを構築し、本市の新たなまちの玄関口として交通結節機能の強化を図り、公共交通の利便性の高い都市拠点の形成を図る。 ・隼人駅東西のアクセス向上と快適な駅前空間を形成し、歩行者・自転車などの駅東西の移動の利便性、円滑性を確保し、迂回ルートの短縮や踏切利用頻度の低下を図る。 	<p>●基幹事業</p> <p>【道路】隼人駅東西自由通路、駅前広場(東口、西口)</p> <p>【地域生活基盤施設】自転車駐車場</p> <p>【高質空間形成施設】隼人駅東西自由通路(エレベータ)、シェルター等(東口、西口)</p> <p>●関連事業</p> <p>【土地区画整理事業】隼人駅東地区</p>
<p>●回遊性や交流空間の創出とまちの活性化の取組による東西地区を一体とする駅周辺地区の賑わい空間の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅東西のネットワークの構築による移動の円滑性・回遊性の向上や交流空間の形成により、若い世代を含む多くの来街者が集う魅力ある市街地の形成を図る。 ・地域住民が参加するワークショップ等のまちづくり活動を支援し、既存市街地の空き店舗や既存ストックの利活用など、駅周辺地区が一体となった賑わいの創出、地区の活性化を図る。 ・「居心地が良く歩きたくなる」ウォーカブルな交流・滞在空間を官民一体となって創出する。 	<p>●基幹事業</p> <p>【道路】隼人駅東西自由通路、駅前広場(東口、西口)</p> <p>【地域生活基盤施設】自転車駐車場、駅前広場</p> <p>【高質空間形成施設】隼人駅東西自由通路(エレベータ)、シェルター等(東口、西口)</p> <p>【公園】(仮)隼人駅東地区1号公園</p> <p>【滞在環境整備事業】コーディネート及び社会実験</p> <p>●提案事業</p> <p>【地域創造支援事業】セミナーやワークショップの開催に係る委託料</p> <p>【事業活用調査】事後評価に係る委託料</p> <p>【まちづくり活動推進事業】地域ワークショップ支援</p> <p>●関連事業</p> <p>【土地区画整理事業】隼人駅東地区</p>
<p>その他</p>	
<p>○円滑な事業執行の環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付期間中に、事業の進捗状況や成果の発現状況を把握し、その後の事業を円滑に実施するため、モニタリングを実施する予定である。 <p>○継続的なまちづくり活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・霧島市商工会議所・霧島市商工会と連携し、まちづくり活動への支援やこれらと一体となったまちづくりに努める。 <p>○その他官民協働の取り組み事例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延べ7回「霧島リノベーションまちづくり戦略会議」を開催し、民間の8名の委員を中心に本市の将来像や新しい暮らし方について議論し、「霧島リノベーションまちづくりガイドライン」を策定した(令和3年3月) 	

隼人駅周辺地区(鹿児島県霧島市)	面積	52 ha	区域	隼人地区
------------------	----	-------	----	------



隼人駅周辺地区(鹿児島県霧島市) 整備方針概要図(まちなかウォークアブル推進事業)

目標	大目標:霧島市の都市核として利便性が高く魅力ある隼人地区の創出	代表的な指標	踏切・東西自由通路の歩行者数 (人/日)	1,630 (H28年度) →	1,675 (R7年度)
	小目標①:駅周辺の東西連携軸の強化		駅周辺(西口)の歩行者数 (人/日)	2,289 (H28年度) →	2,295 (R7年度)
	小目標②:駅西側の活性化		()	(年度) →	(年度)



交付金の執行状況

【隼人駅周辺地区都市再生整備計画】

(単位:百万円)

	R2	R3	R4	R5	R6
配分額 (a)	43.40	115.40	134.60	238.00	
計画別流用 増△減額 (b)	0.00	0.00	0.00	0.00	
交付額 (c=a+b)	43.40	115.40	134.60	238.00	
前年度からの繰越額 (d)		43.23	115.40	82.12	
支払済額 (e)	0.17	43.23	167.88	87.04	
翌年度繰越額 (f)	43.23	115.40	82.12	233.08	
うち未契約繰越額 (g)	11.11	115.40	82.12	231.85	
不用額 (h = c+d-e-f)	0.00	0.00	0.00	0.00	
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	25.6%	72.7%	32.8%	72.4%	
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	関係団体との協議に不測の日数を要したため。	関係団体との協議に不測の日数を要したため。	関係団体との協議に不測の日数を要したため。	関係団体との協議に不測の日数を要したため。	

※ 令和2年度以降の各年度の決算額を記載。